

岩手県立大学 2022(R4)年度 新入生アンケート

集計結果報告書（抜粋）

2022（R4）年6月

目次

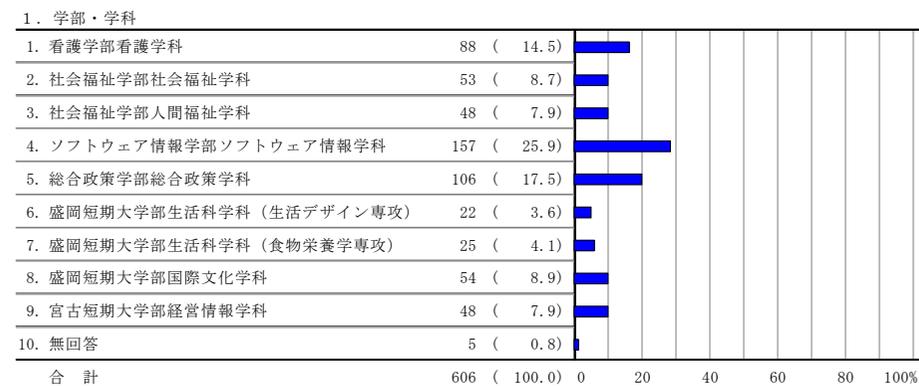
1. 調査の概要	1
○1. 学部・学科	1
○2. 性別	1
2. 調査結果の要約	2

1. 調査の概要

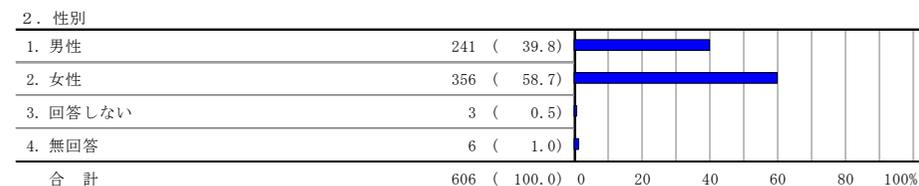
①実施時期	令和4年4月
②実施方法	紙媒体での配布・回収
③実施対象者数	694人
④回答者数・回答率	606件（回答率87.3%）

⑤回答者内訳

○1. 学部・学科



○2. 性別



2. 調査結果の要約

問 1 第一志望の大学

全体では「第一志望だった」73.6%、「第二志望だった」18.6%、「第三志望以下だった」6.8%となっている。

問 2 本学の入試等に関する情報の入手方法

本学の入試等に関する情報の入手方法の上位 3 項目は、「入学案内(冊子)を読んだ」59.7%、次いで「本学のウェブサイトを見た」49.2%、「高校の先生からアドバイスを受けた」43.7%となっている。

問 2-2 本学のウェブサイトの閲覧状況と理解度

本学のウェブサイトを閲覧したことのある学生の割合は 90.6%(100-「見たことがない」-「無回答」)。学生の 87.7%が大学について「大変良く理解できた」(23.8%)、「概ね理解できた」(63.9%)と回答している。

問 2-3 本学の入学案内(冊子)の閲覧状況と理解度

本学の入学案内(冊子)を見たことがある学生は 88.9%(100-「見たことがない」-「無回答」)。学生の 86.5%が大学について「大変よく理解できた」(28.9%)、「概ね理解できた」(57.6%)と回答している。

問 2-4 参加した行事と本学受験との関連

本学で実施している行事と本学受験への影響度に関して、「2.受験決定の大きな要因」+「3.受験決定の要因の一つ」を合算してみると「大学説明会」21.5%が最も影響度が高く、次いで「デジタルオープンキャンパス」15.0%、「出張講義又は出前講義(高校で実施)」14.7%、「大学見学」14.5%、「オープンキャンパス」12.7%となっている。

問 3 本学の受験決定時期

本学の受験を決めたのは、全体としては入試直前といえる「共通テストの後」28.5%が最も高く、次いで「高校 3 年の春」16.2%、同率で「高校 2 年」「高校 3 年の夏」14.9%となっている。

問 4 入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)と受験決定の関係

「ウェブサイトや入学者選抜要項等で公表している入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)は、受験決定の参考になりましたか」という設問に対して、全体として「受験決定の大きな要因となった」19.0%、「受験決定の要因の一つとなった」55.3%と回答しており、この 2 項目を合わせた割合は 74.3%となっている。

問 5 大学進学を考えた理由

新入学者が大学進学を考えた理由について、全体としては「専門的知識や技術を修得したいから」57.3%が最も高く、次いで「資格を取得したいから」34.5%、「教養を広げたいから」32.0%、「就職に必要な勉強をしたいから」31.2%となっている。

問 6 本学に関する情報に触れた機会(複数回答)

新入学者が本学に関する情報に触れた機会について、全体としては「本学のウェブサイト」が最も高く90.6%、次いで「本学の入学案内(冊子)」59.1%、「本学の SNS」41.9%、「通っていた高校」34.5%、「本学の YouTube」29.0%が概ね 3 割以上となっている。

問 7-1 本学を選んだ理由

本学を選んだ理由について、「大きな理由になった」という積極的な肯定回答だけみていくと、30%以上は「公立(県立)大学である」75.1%、次いで「学びたい分野がある」71.8%、「資格が取得できる」44.9%、「岩手で学びたい」38.3%、「卒業生の就職先や就職率(就職に有利だから)」32.0%、「自分の能力に適していた」30.4%、「学校推薦型選抜制度がある」30.2%となっている。

問 7-2 ソフトウェア情報学部、総合政策学部の新たなコース制、カリキュラムの認知度

「ソフトウェア情報学部、総合政策学部の新たなコース制、カリキュラムの認知度」について、「入学前から知っていた」と回答したのは、「ソフトウェア情報学部」44.6%、「総合政策学部」41.5%となっている。

問 7-3 新たなコース制、カリキュラムが学部選択の理由になった割合

「ソフトウェア情報学部、総合政策学部の新たなコース制、カリキュラムが学部選択の理由になったかどうか」を「入学前から知っていた」学生に聞いた設問では、「大きな理由になった」と回答したのは「ソフトウェア情報学部」40.0%、「総合政策学部」27.3%となっている。

「少しは理由になった」割合を加えると、「ソフトウェア情報学部」92.9%、「総合政策学部」84.1%となっている。

問 8 入学した自身の選抜区分

全体としては、「一般選抜(前期)又は短大一般選抜」50.0%、「一般選抜(後期)」11.2%で合わせて 61.2%、「学校推薦型選抜」32.7%、「総合型選抜」4.6%となっている。

問 9 筆記試験問題の解答時間の適切性

筆記試験問題の解答時間の適切性について、全体として 60.2%が「適切だった」と回答している。

問 10 面接での質問内容の適切性

面接での質問内容の適切性について、面接を受けた学生 314 人のうち 97.8%が「適切だと思った」と回答している。

問 11 試験のときの教職員対応の適切性

試験のときの教職員の対応について、「どちらともいえない」13 人、「適切でないと思った」2 人を除いて、530 人(回答者の 97.2%)が「適切だった」と回答している。

問 13 遠隔授業に主に使用することとなるインターネット環境

遠隔授業に主に使用することとなるインターネット環境に関して、全体としては「無線 LAN(モバイルWi-Fiルータ、スマートフォンからのテザリングを除く)」56.8%、「有線 LAN(光回線)」25.9%、「スマートフォン(テザリング可)」13.5%等のように多くの学生は環境整備が進んでいる。

問 14 ひと月当たり可能な通信量(GB)

インターネット環境でひと月当たり利用可能な通信量の上限については、「無制限」が最も高く 46.6%、次いで 30GB 未満が 29.6%である。

問 15 遠隔授業の資料印刷等に使用可能なプリンタの有無と今後の予定

遠隔授業の資料印刷等に使用可能なプリンタの有無に関しては、「使用可能なプリンタがある」のは 57.4%、一方、「使用可能なプリンタがなく、今後準備する予定もない」という回

答が24.4%となっている。

問 16.現時点で考えている自分の将来

「自分の将来についてどのように考えていますか」という設問について、全体としては「学びの専門性を活かせる就職」が63.9%、「学びの専門性にこだわらない就職」12.9%、「大学院への進学(または学部への編入学)」12.0%となっている。

問 17-1 就職を希望する場合の希望職業

就職を希望する場合の希望職業について、全体としては「企業等」が32.5%、「公務員」29.5%となっている。尚、「未定」との回答は15.9%であった。

問 17-2 就職を希望する場合の希望勤務地

就職を希望する場合の希望勤務地について、全体としては「岩手県内」32.9%、「東北(岩手県を除く)」26.0%となっている。

問 18 本学と本学の学生に関するイメージ【本学に関するイメージ】

学生が感じる本学のイメージに関して、全体として最も高いのは「学部・学科が充実している」47.9%、次いで「地域社会・文化に貢献している」46.0%、「地域産業に貢献している」40.8%、「就職状況が良い」37.6%、「教育機関としてのビジョンがある」35.3%、「在学中の資格取得に積極的である」32.8%である。(30%以上の項目)

問 18 本学と本学の学生に関するイメージ【学生に関するイメージ】

学生が感じる本学の学生のイメージについて、全体として30%以上の学生が選択した事象は「勉強、研究に熱心である」33.8%、「礼儀正しい」30.4%となっている。